

# ぎかいだより



## 未来に向かって走れ!!

### 議会だより第50号記念特集

## 平成30年第3回定例会

8月30日～9月21日



議会だより第50号記念特集  
「変わる市議会会派制度導入」…………… P2  
第3回定例会  
平成29年度各会計決算…………… P4  
常任委員会審査報告  
一般質問  
初の会派代表質問を実施…………… P12

平成30年11月15日発行

発行：栃木県下野市議会

編集：議会だより編集委員会

ホームページ：http://www.city.shimotsuke.lg.jp

E-mail: gikai@city.shimotsuke.lg.jp

しもつけ市議会だよりは市ホームページでもご覧いただけます

# 「変わる市議会 会派制を導入」

～議会の活性化を目指して～



各会派代表者  
左：岡本鉄男議員(一心会代表)  
中央：松本賢一議員(清明会代表)  
右：村尾光子議員(下野市民派クラブ)

会派とは、主義主張を同じくする議員が集まってつくりことができるグループのことです。  
下野市議会では2人以上の議員で会派を結成することができます。

## ～会派制導入までの経過～

- |        |   |
|--------|---|
| 平成26年  |   |
| 9月24日  | 第3回定例会において「下野市議会活性化特別委員会」設置を可決。議長から議会改革の諸問題について調査・検討項目(会派制)の諮問。               |
| 10月17日 | 第1回議会活性化特別委員会(検討項目及び今後のスケジュールについて)  |
| 平成27年  |   |
| 2月17日  | 第5回議会活性化特別委員会(会派制導入について)  |
| 3月16日  | 第6回議会活性化特別委員会(会派制導入について)<br>会派制導入の方向で進めていく。今後、会派制導入の時期、会派の規程や代表制について調査研究していく。 |
| 平成28年  |   |
| 3月11日  | 第16回議会活性化特別委員会(会派制の導入時期及び規程の整備について)<br>「会派制に関する小委員会」を設置                       |
| 平成29年  |   |
| 6月12日  | 小委員会(会派代表者会議、代表質問、会派制導入後の議会運営委員会の構成について)                                      |
| 7月10日  | 小委員会(会派代表者会議について)   |
| 7月25日  | 小委員会(政策立案等の協議について)  |
| 12月13日 | 議会活性化特別委員会最終報告<br>会派制の導入について、次期改選後の導入を決定                                      |
| 平成30年  |   |
| 5月     | 会派結成届出により3会派が誕生   |

# 会派の紹介

届出がありました会派の理念や活動内容についてご紹介します。(掲載順は会派結成届出順です)

## 下野市民派クラブ (しもつけしみんはくらぶ)

代表 村尾 光子  
磯辺 香代  
高橋 芳市  
中村 節子

改選後の会派制導入に併せて、私たちは「環境・平和・人権・民主主義、そして市民の声を大切に活動する」を基本理念とした下野市民派クラブを4人で結成しました。個人の考えを尊重しつつ、協調できるところは一緒に、という緩やかな会派です。

現在のところ、年1回は会派として議会報告と意見交換会を開催することにしています。早速本年7月に開催した意見交換会「市民派カフェ」で市民の皆様から伺ったご意見について、メンバーで検証・協議しながら、執行部への提言をまとめているところです。

議会会議等の合間をぬって会員の日程を調整しながらなので時間がかかりますが、政策実現につなげたいと努力しています。

## 一心会 (いっしんかい)

代表 岡本 鉄男  
秋山 幸男  
小谷野晴夫  
高山 和典  
坂村 哲也  
伊藤 陽一

### 1. 会派の理念

- (1)市民のために必要な政策を実現します。
- (2)市民の声を市政に反映します。
- (3)市民とともに公平な市政を実現します。

### 2. 会派の活動内容

- (1)政策実現のため議会内外で提言や討議など最善の努力を尽くします。
- (2)市民の皆様への情報提供や意見をお聞きし、市政に反映できるよう取り組みます。
- (3)市民の利益のために既得権益の打破と行政の効率化や民間の活性化に取り組みます。

## 清明会 (せいめいかい)

代表 松本 賢一  
石田 陽一  
大島 昌弘  
奥田 勉  
相澤 康男  
石川 信夫  
貝木 幸男

### 会派の理念・活動内容

- ・市民の視点に立ち、市民とともに行動します。
- ・議会改革により、市民に信頼される議会を目指します。
- ・持続可能な社会保障制度の確立を目指します。
- ・子育て環境の充実と、子どもたちの学力・体力の向上を図ります。
- ・地域社会のコミュニティの維持と伝統文化を守ります。
- ・行政のチェック機関として、常に調査研究をして政策提案を行っています。



平成30年第3回定例会は、8月30日から9月21日までの23日間の会期で開催されました。

市長提案により、人事案件17件、29年度決算認定9件、30年度補正予算案9件、条例の一部改正案1件、協定・契約の締結議案5件、及びその他の議案1件の計42件が提出され、すべて原案のとおり可決(認定)されました。

一般質問は、会派による代表質問を初めて導入し、3人の会派代表者が質問したほか、11人の議員が個人質問を行い、市の対応や考え方を問いただしました。

# 平成29年度各会計 決算を認定

8月31日、29年度会計決算の内容の説明がありました。

一般会計、8特別会計については会計管理者から、水道事業会計については建設水道部長からの説明でした。

その後、代表監査委員からの審査報告がありました。5日に本会議で総括質疑、6日から13日まで各常任委員会で審査が行われ、21日の本会議での表決の結果、すべての会計決算について認定しました。

## ■平成29年度一般・特別会計歳入歳出決算 (単位：千円)

会計名	歳入	歳出
一般会計	251億7192万9	237億3243万2
特別会計		
国民健康保険	66億3719万4	61億9527万2
後期高齢者医療	6億94万8	5億9696万1
介護保険	41億6337万3	38億4524万2
公共下水道事業	17億3854万9	16億5450万8
農業集落排水事業	4億5679万5	4億2939万9
石橋駅周辺土地地区画整理事業	1546万1	793万8
仁良川地区土地地区画整理事業	8億3576万1	6億3764万6

## ■平成29年度水道事業会計決算(税込) (単位：千円)

区分	収入	支出
収益的収支	10億8668万6	8億6297万0
資本的収支	1億8243万4	5億6304万0

## ■主な財政指標

項目	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
経常収支比率 (%)	84.2	85.5	80.9	86.2	87.1
財政力指数	0.802	0.801	0.795	0.782	0.767
実質公債費比率 (%)	7.5	6.9	5.8	5.0	3.9
将来負担比率 (%)※	△62.0	△69.4	△67.6	△75.1	△80.8

※△はマイナス、決算報告では数値は示さず「-」と表記される。

## 監査委員決算審査意見

### 自主財源の確保

本市においては、大松山運動公園の拡張整備や石橋中学校・南河内中学校の改修などが進められているが、交付税措置のある合併特例事業債の借入れ期限が平成32年度までである。厳しい財政状況の中、工業団地造成など大型事業が控えていることから、市税をはじめとする自主財源の確保に努力されたい。

### 特記事項

平成30年1月24日、市の給与担当者による公金詐取事件が発覚し、損害額は3700万円余にのぼり、市では損害賠償請求を行うとともに、第三者委員会を設置して事件の検証、再発防止策、職員の倫理観や管理監督者のマネジメント向上について意見を求めている。今後は、損害額の保全に努めるとともに市のコンプライアンスを確立させ、内部統制に向けた仕組みづくりを検討されたい。



決算審査報告をする  
大久保代表監査委員

# 一般会計決算

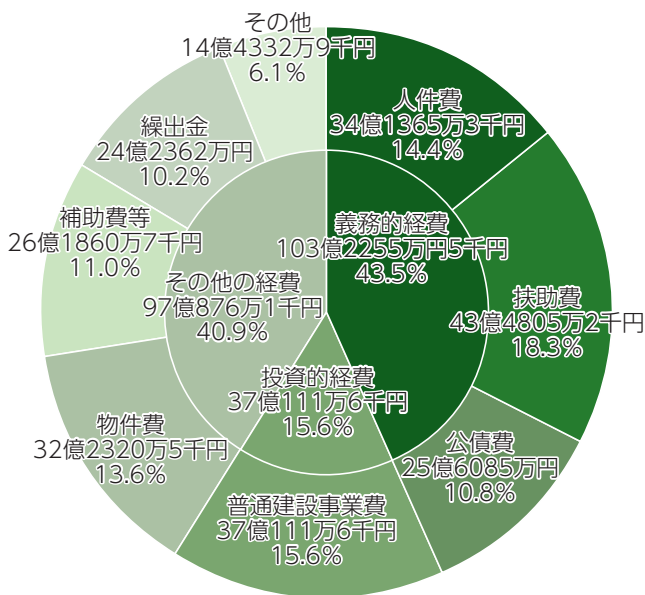
歳入 市税収入は1.7%の増

歳入決算額は前年度より5.6%減少して251億7192万9千円でした。市税収入は1.7%増加し96億836万6千円でした。個人市民税は給与所得が上がったため増加。法人市民税は新規事業の本稼働などにより増加。固定資産税は新増築家屋の増加や新規の設備投資により増加。市税全体では1億6358万8千円増加しました。徴収率も0.4%上がり96.4%でした。市税収入は歳入全体の38.2%を占め、前年度繰越金や基金繰入金を含めた自主財源の割合は50.2%となりました。

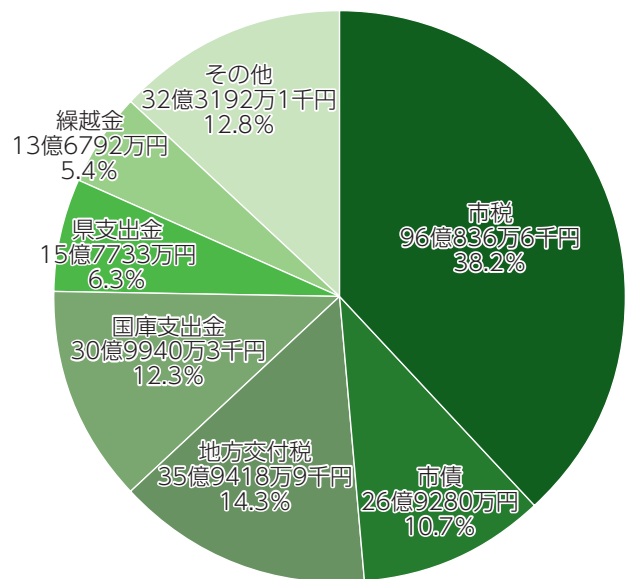
歳出 投資的経費は8.8%減

投資的経費である普通建設事業費は、南河内中学校大規模改修(3億269万3千円)、仁良川地区公園整備(2億1985万6千円)、国分寺B&G海洋センター改修(1億7959万円)などがありました。ゆうがおパーク建設、さらら館改修などが終了したため、3億5499万1千円の減となりました。また、子ども手当・医療費給付費・生活保護費などの扶助費は歳出全体の18.3%を占めています。前年度比2.8%(1億1712万2千円)の増で、その前の9.9%と比較し伸びは抑えられています。ほかに、大きな事業として三王山地区公園整備事業2億1606万円(土木費)、大松山運動公園拡張整備事業3億7120万7千円(教育費)などがありました。

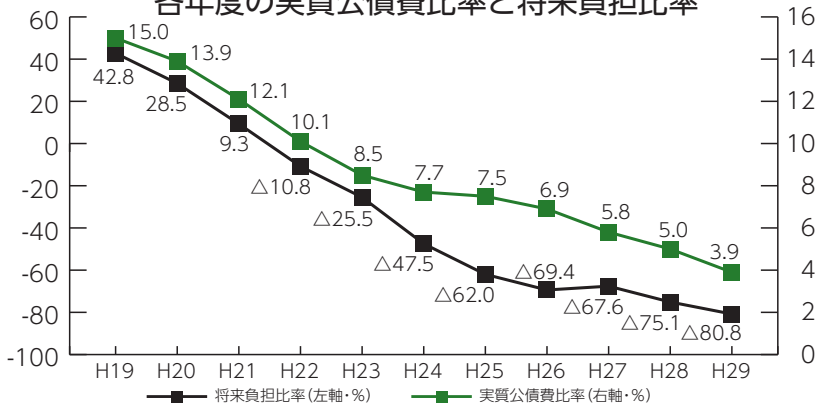
**歳出** 237億3,243万円



**歳入** 251億7,193万円



各年度の実質公債費比率と将来負担比率



- 実質公債費比率・・・地方税などの一般財源に占める公債費(借金の返済金)の割合を示す。18%を超えると借入に県の許可が必要となり、25%を超えると借入が制限される。
- 将来負担比率・・・将来負担すべき実質的な負債の割合を示す。地方公社や損失補償を行っている出資法人等に係るものも含まれる。

29年度決算の健全化判断比率の状況を見ると、実質赤字比率、連結実質赤字比率及び将来負担比率は前年度に引き続きマイナスとなりました。一方、財政構造の弾力性を判断する経営収支比率は前年度よりも0.9%悪化し、87.1%となりましたが、依然として県内14市の中では良好な財政状況だと言えます。

健全化判断比率は良好  
**健全財政を維持**



## 人権擁護委員の推薦

本年12月31日をもって任期満了となる人権擁護委員について、後任として、**近藤美知子氏（国分寺）**を推薦することについて了承しました。

## 農業委員の任命

本年9月3日をもって任期満了となる農業委員について、左記の16名を任命することに同意しました。

(敬称略)

氏名	住所	氏名	住所
伊澤 健二	本吉田	黒川 悟	下石橋
伊澤 千代子	磯部	毛塚 重男	上古山
井上 正男	川中子	近藤 美好	国分寺
大島 久夫	下坪山	高田 正枝	上台
大高 京子	小金井	榎木 晴人	薬師寺
大沼 澄雄	薬師寺	野澤 勇	谷地賀
大橋 保夫	中大領	若松 洋一	下古山
金子 信博	仁良川	渡邊 仁	柴

## 平成30年度一般会計補正予算 空き家対策事業として

## 空き家バンクリフォーム補助

を予算計上

一般会計は、歳入・歳出それぞれ7億9466万8千円を増額し、予算総額を264億5526万4千円としました。

歳入では、平成30年度普通交付税の交付額の決定により、3億1731万4千円を追加したほか、国庫補助金として、アニメーションを活用した移住・定住促進プロジェクトやツール・ド・とちぎに対する地方創生推進交付金を追加しました。

歳出においては、空き家対策事業として新たに創設する「空き家バンクリフォーム支援補助金」300万円を計上したほか、公共下水道整備区域拡大に伴い、公共下水道事業特別会計への繰入金として7940万円を計上しました。

各特別会計は、前年度決算に伴い、それぞれ予算補正を行いました。

### 平成30年度各会計補正予算

(単位：千円)

会計	名	補正額	補正後の予算額
一般会計	第2号	7億9466万8	264億5526万4
特別会計	国民健康保険	2億6492万1	56億3161万8
	後期高齢者医療	398万6	6億5582万3
	介護保険	2億6813万0	44億5255万4
	公共下水道事業	△1億7285万9	17億1323万4
	農業集落排水事業	2739万6	4億4183万1
	石橋駅周辺土地区画整理事業	752万2	1680万2
仁良川地区土地区画整理事業	1億4015万6	5億8039万7	

## 条例 その他

### 介護保険条例の一部改正

下野市介護保険条例の一部改正を議決しました。改正後の下野市介護保険条例の規定は、平成30年度以後の年度分の介護保険料について適用し、平成29年度分までの介護保険料については、旧法が適用されます。

### 工事委託協定の締結

東北本線小金井駅構内自由通路補強その他工事の委託協定について、議決しました。

協定金額…

2億7994万5033円

協定の相手方…

東日本旅客鉄道株式会社

### 工事請負契約の締結

石橋中学校大規模改修工事（建物の経年劣化、暑さ・寒さ対策、衛生面改善等）の請負契約について議決しました。契約金額…15億9624万円

契約の相手方…

佐藤・小林・前原特定建設工事共同企業体

# 総括質疑

**公金詐取にかかる会計上の処理**

**問** 公金詐取された3700万円は会計上どう処理されているか。

**答** 公金詐取の伝票は詐取本人ではなく、債権者として名前を利用された者の伝票が、口座振替の段階で詐取という流れで処理された。

**監査委員から提出された決算審査意見書**

**問** 監査委員の意見に、コンプライアンス委員会の答申を十分にいかしながら内部統制に向けた仕組みづくりを検討する必要、とあるがどう対応するのか。

**答** 職員不祥事に対し、コンプライアンス確立委員会を設置し、議論をいただいた上で、本市も将来的には内部統制の体制の整備に向けて進めていく。

**30年度一般会計補正予算(第2号)**

**問** 地域づくり事業推進基金の積立金の財源は何か。

**答** 地域づくり事業推進基金の今年度の624万円、一般財源である。内訳は、株式会社誠和500万円、石橋ライオンズクラブ100万円、そのほか個別のふるさと納税など。

**工事請負契約の締結(石橋中学校大規模改修)**

**問** 総合評価落札方式における学識経験者の意見聴取について、学識経験者とはどのような方々か。

**答** 栃木県土木事務所に設置されている専門家で構成された総合評価委員会の県南部会である。設計書をはじめ、評価項目ごとの評価基準についても審査していただいた。

**業務委託契約の締結(風土記の丘資料館展示リニューアル業務)**

**問** 公募型のプロポーザルで実施したとあるが、

**答** 応募してきた事業所数を伺う。落札者を含めて3社からの問い合わせがあったが、実際にプロポーザルに参加した事業所は1つである。参加条件として、他の地方公共団体での実績や、重要文化財の展示収蔵に関する実績がある等の条件を付している。

**問** プロポーザルにおいて評価を行った委員は何名で、どのようなメンバーだったのか。

**答** 教育委員会部局と市長部局の合計8名の委員により実施した。

**薬師寺コミセン 強風被害について**

8月24日、薬師寺コミセンティセンターの屋根が強風により剥離する事故が発生しました。幸い大事故には至らなかったものの、避難所に指定されている施設であること、建築後2年5か月しか経過していないこと等を鑑み、現地調査を実施するとともに、執行部、設計・施工業者に説明を求め、事故の原因と対応について厳しく追求しました。今後、このような事故が起ころぬよう、議会としても十分にチェックしてまいります。

## 新型はしご車お披露目



購入額 約2億2600万円

石橋消防本部に最新型のはしご車が配備され、市議員が体験搭乗しました。最大地上高35・3メートルとなるはしご部分にはアルミ製の伸縮水路管が備えられており、従来の消防ホースに比べ大量放水が可能(最大2000リットル/分)となっています。

## 第3回定例会 会期日程

8月30日	本会議【開会】 (一部表決、議案の説明)
31日	本会議 (29年度決算の説明、監査委員審査結果報告)
9月3日	本会議 (会派代表質問、一般質問)
4日	本会議 (一般質問)
5日	本会議 (一般質問、議案の質疑、委員会付託)
6・7日	教育福祉常任委員会 (現地調査、付託案件審査)
10・11日	経済建設常任委員会 (現地調査、付託案件審査)
12・13日	総務常任委員会 (現地調査、付託案件審査)
21日	本会議【閉会】 (委員長報告、質疑、表決)

※今定例会の傍聴者数 82名(延べ)

# 第3回定例会の審議結果

議案等番号	付議事件	結果	坂村 哲也	高山 和典	伊藤 陽一	五戸 豊弘	石川 信夫	貝木 幸男	相澤 康男	奥田 勉	中村 節子	大島 昌弘	高橋 芳市	石田 陽一	小谷野晴夫	秋山 幸男	磯辺 香代	松本 賢一	岡本 鉄男	村尾 光子	
諮問1号	人権擁護委員の候補者の推薦	答申	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
同意9～24号	下野市農業委員会の委員の任命	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
認定2号	平成29年度一般会計歳入歳出決算認定	認定	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
認定3号	平成29年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
認定4号	平成29年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
認定5号	平成29年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
認定6号	平成29年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
認定7号	平成29年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
認定8号	平成29年度小山栃木都市計画事業石橋駅周辺地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
認定9号	平成29年度小山栃木都市計画事業仁良川地区土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
認定10号	平成29年度水道事業会計決算認定	認定	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案47号	平成30年度一般会計補正予算(第2号)	可決	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案48号	平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案49号	平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案50号	平成30年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案51号	平成30年度公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案52号	平成30年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案53号	平成30年度小山栃木都市計画事業石橋駅周辺地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	可決	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案54号	平成30年度小山栃木都市計画事業仁良川地区土地地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	可決	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案55号	平成30年度水道事業会計補正予算(第1号)	可決	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案56号	平成29年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	可決	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案57号	下野市介護保険条例の一部改正	可決	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案58号	工事委託協定の締結	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案59号	工事請負契約の締結	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案60号	物品売買契約の締結	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案61号	工事請負契約の締結	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案62号	業務委託契約の締結	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 (議長は表決に加わらない)

## 議会に報告があったもの (表決はありません)

議案等番号	案件名	内容
報告15号	平成29年度健全化判断比率及び資金不足比率	全会計が黒字決算。実質公債費比率は3.9%と良好。
報告16号	平成29年度公益財団法人下野市農業公社の経営状況説明書の提出	農地利用集積円滑化事業や営農集団及び農業生産法人育成事業など、平成28年度の事業報告。
報告17号	平成29年度株式会社道の駅しもつけの経営状況説明書の提出	オープン1年目となった道の駅やふれあい館の運営など、平成29年度の事業報告。
報告18号	平成29年度一般財団法人グリムの里いしばしの経営状況説明書の提出	ホール事業や企画展事業など、平成29年度の事業報告。
報告19号	平成30年度教育委員会点検・評価報告書の提出	平成29年度の教育委員会にかかわる事務事業について、点検及び評価の結果を報告。
報告20号	専決処分の報告	公用車の事故に係る示談の成立及び損害賠償額30万1320円の決定。
報告21号	専決処分の報告	市道での事故に係る示談の成立及び損害賠償額41万2750円の決定。



# 常任委員会報告

定例会で委員会付託された議案等について、各常任委員会の審査状況を報告いたします。

総務

## わがまち未来創造事業補助金

(29年度一般会計決算)

「わがまち未来創造事業補助金」について、対象事業を伺う。

市の単独事業として10事業、近隣町との連携事業が3事業である。単独事業の主なものは、産業祭、いしばし納涼盆踊り花火大会、天平マラソンの開催である。連携事業は、広域連携による観光振興事業、下野古墳群の整備活用事業などがある。

問

答

総務

## ふるさと寄附金

(29年度一般会計決算)

ふるさと納税の件数と、本市の市民が他市町村にふるさと納税を行うことによる本市からの流出額を伺う。件数は38件である。また、本市からの平成29年度課税分としては6113万円が流出した。今年度は、ふるさと納税に対する返礼品目の拡充に向け取り組み、昨年度の同時期と比較して倍以上の申し込みがある。

問

答

総務

## 医療費削減の取り組み

(29年度国民健康保険特別会計決算)

全体的な医療費削減についての取り組みについて伺う。

ジェネリック医薬品を利用した場合の差額通知を年3回発送し、利用促進を図るほか、医療費通知を年2回発送し、医療制度の通知と適正受診の勧奨を行っている。病気の早期発見のための特定健康診査には、個別検診と集団検診があるが、集団検診については、土・日曜日など参加しやすい時間帯を設けるなど、多くの方に受診していただけるよう工夫している。

問

答

総務

## 障がい者雇用について

(29年度一般会計決算)

「一般職給与費」に関する障がい者雇用の平成29年度の実績を伺う。

障がい者雇用については、身体障害者手帳等で確認しており、法定雇用率の2.3%に対して、本市は2.65%である。

問

答

総務

## アニメ利用の事業について

(30年度一般会計補正予算)

「総務費国庫補助金」における「地方創生推進交付金」について、ツール・ド・とちぎ及びアニメ利用の事業に充当されることだが、アニメ利用の事業内容について伺う。

問

答

社会科副読本として、下野市の歴史を題材にした漫画を作成し、小学6年生に配布することにより、市の歴史を知ってもらい郷土愛を深め、定住につなげることを目的とした事業である。

経済建設

## 多面的機能支払負担金

(29年度一般会計決算)

国県以外に負担金として入るところがあるのか伺う。多面的機能支払いの割合は、国が50%、県が25%、市が25%である。上三川町と本市の両方にまたがった部分があるため、下野東部地区と成田地区の面積を按分し、上三川町からいただいている。

問

答

**経済建設** **地元農畜産物普及事業**  
(29年度一般会計決算)

地元農畜産物普及事業について伺う。

**答** 特産品であるかんぴょうなどを東京でPRする事業である。かんぴょうの知名度アップと生産振興、消費拡大につなげるために様々なイベントを行った。

**経済建設** **工業団地管理事業**  
(30年度一般会計補正予算)

柴工業団地調整池の土壌検査の内容について伺う。

**答** 調整池ができてから30年〜40年経つが、一度も清掃が行われておらず、堆積した土壌が1メートルほど溜まっている。余裕を持たせるために撤去作業を考えているが、土壌を撤去するには、産廃になるか通常の土として処理できるものかの確認が必要である。

**福祉教育** **保育士確保事業(※)**  
(29年度一般会計決算)

予算額360万円に対し、決算額が144万円であった。周知の状況を伺う。

**答** 宇都宮市や小山市、東京などの大学等にポスター掲示をお願いし、制度の紹介を行っている。

**経済建設** **通学路安全施設整備事業**  
(29年度一般会計決算)

工事内容と実施地域を伺う。

**答** 通学路の路側帯にグリーンベルトを設置した。石橋小学校区1か所、薬師寺小学校区1か所、国分寺東小学校区1か所、国分寺小学校区2か所の5か所である。

**経済建設** **空き家対策事業**  
(30年度一般会計補正予算)

空家バンクリフォーム支援の詳細を伺う。

**答** 空家バンクに登録した物件のリフォームへの補助である。工事の部分と家財の処分に関する部分について補助し、リフォーム工事は20万円以上、家財処分は5万円以上で、1住宅1申請者につき1回限りとなる。補助率は2分の1、限度額はリフォーム工事が50万円、家財処分が10万円である。

**福祉教育** **妊娠サポート事業**  
(29年度一般会計決算)

扶助費825万1600円の内訳を伺う。また、特定不妊治療97組の中に、男性不妊治療を受けている方もいるのか。

**答** 扶助費の内訳は、特定不妊治療745万3500円、人工授精費73万4700円、不育症治療費2万5400円、風しん予防接種3万8000円である。男性不妊治療については、29年度の申請はなかった。28年度には1件の助成があった。

**経済建設** **下野市公共下水道事業**  
(29年度公共下水道特別会計決算)

公共下水道の普及率について伺う。

**答** 本市の平成30年4月1日現在の普及率は、76・8%で、昨年の76・3%から0.5%伸びている状況である。水洗化率は、供用開始区域内人口に対する水洗化人口の割合で、本市では94・8%である。

**福祉教育** **AED整備事業**  
(29年度一般会計決算)

市内コンビニエンスストア22店舗と市有バス2台に設置したことだが、コンビニエンス業者や従業員にAEDの講習等を行っているのか。

**答** マニュアルにより使い方の説明をし、石橋消防組合での講習会への参加をお願いしている。また、一般市民にも講習を受けていただくよう呼びかけている。

**福祉教育** **国分寺地区小中学校のコンピュータ更新**  
(29年度一般会計決算)

今までパソコンの調達先と設定業者を同じにしていたが、今回から別にしたことでコストを抑えることができたか聞いた。詳細を伺う。

**答** ノートパソコンをタブレットに変えたこともコスト削減できた要因の一つである(約1200万円削減)。業者については、調達と設定を分けて発注したことで競争原理が働き、約7900万円削減となり、合計して約9100万円の効果があった。

※保育士確保事業：市内の保育園、幼稚園、認定こども園に就職することを前提に、大学生、短大生に対し、年間36万円の奨学金を給付する事業。

## 現地調査を行いました 常任委員会で議案審査に先立ち事業の現地調査を行いました。

### 教育福祉常任委員会



南河内東体育館改修事業



薬師寺歴史館増築工事



石橋中学校仮設校舎

### 経済建設常任委員会



仁良川地区土地区画整理事業



夜明け前再生整備事業



高速道路利用検討事業

### 総務常任委員会



消防器具置場(第7分団第1部)



自治医大駅自転車駐車場



旧石橋庁舎解体現場

## 魅力的な議会だよりを作るために



10月9日(火)、市内在住のフォトグラファー荒畑恵子さんを招き、魅力的な議会だよりを作るための講習会を開催しました。

撮りたい場面・状況を伝えられるわかりやすい写真を撮るには、3つのポイントとして ①「背景」「構図」「光」をしっかり押さえていけば、いい写真が撮れる ②「背景」「構図」では、何を撮りたいのか ③「光」では日陰や逆光の設定調整をする、カーテンなどを利用するなど、様々なことを学びました。

携帯やカメラに様々な機能があることがわかり、より良い広報作りに役立ててまいります。

## 第2回中学生議会を開催



8月20日(月)、庁舎4階議場において中学生議会が開催されました。市内の中学校から各校4名計16名の生徒が議員となり、2人1組計8組が質問の場に立ちました。観光産業や公園遊具の老朽化・防犯対策・ごみの問題・介護施設・市の活性化・市のPRアニメ「サクラノチカイ」・地震対策など、鋭い視点から、市長をはじめ市執行部に対し質問を投げかけました。

中学生議員の清々しさや純粋な物の見方に私達議員も見習うことは多いと感じました。

# 市政をたたく

## 一般質問

第3回定例会では、初の会派代表質問が行われ、3名の会派代表者が質問しました。また、個人質問として11名の議員が市政に対し質問を行いました。質問と答弁の内容を要約して掲載します。

代表 心 会 代 表  
岡 本 鉄 男 議員

【今回の質問】

1. 高校生の医療費の無料化
2. コミュニティFMの開局と活用
3. 文化会館建設について
4. 平成30年4月に行われた小中学校の全国学力試験結果



問 1

高校生の医療費無料化について。

答 1

市長 18歳に到達した年度の3月末までの方を現物給付の対象とする。

問 3

文化会館の建設について。

答 3

市長 平成27年3月に拠点整備のあり方について答申が出され、1000席程度の小ホール、400席程度の小ホールを備えた施設建設が提言された。建設には多額の建設費と運用コストが必要で、極めて厳しい。施設整備には2ヘクタールの土地が必要だが確保が困難である。国際的な規格を有する文

化芸術機能にこだわらず、多くの市民が活用できる多目的な交流拠点としての文化施設の整備を目指したい。

問 2

コミュニティFM開局と活用。

答 2

市長 放送エリアを市内に限定し情報提供する。平成31年12月開局予定。公設民営方式とし、災害時における安全安心な情報の伝達に役立てる。

問 4

4月に行われた全国学力試験結果について。

答 4

教育長 本市の平均正答率は栃木県平均と全国平均を上回る良好な結果である。栃木県学力向上推進リーダー事業や「いきいき学び塾」を活用した結果である。



国分寺小学校



## 下野市民派クラブ代表 村尾光子 議員

### 【今回の質問】

1. 地域公共交通としてコミュニティバスも導入されたい。
2. ケアラー(家族介護者)への支援策充実を求める。

**答1** 市長 ①現行の地域公共交通総合連携計画が終了する平

②国分寺西小学校再編と同時にスクールバスの運行が求められている。コミュニティバス運行と一体的に考えられないか。

成32年度末までに、次期計画を策定する。合併前から運行していた石橋地区のきらら号、南河内地区のふれあい号を運行調査結果から廃止し、新たな公共交通システムとしてデマンドバスを運行している。今後高齢化が進

行していく中で、市民の日常生活に根ざした移動手段について、多くの選択肢を検討する必要がある。定時定路線型のコミュニティバスの導入につ

いても、必要性、採算性、運行経路やシステム等について、地域公共交通会議等で慎重に検討する。

②平成31年4月の国分寺西小再編に伴いスクールバスを導入する。運行は車両を含めて業務委託とし、委託業者が国交省関東運輸局に特定旅客自動車運送事業、特定バスとして利用者や車両を限定して、許可申請を行う。

コミュニティバスと一体的な運行は考えていない。

線までが市で、約3億1千万円。関連事業費を合わせ、市の総額は約11億2千万円である。



小山市のコミュニティバス「おーバス」  
羽川線は小山駅西口から小金井駅西口まで運行



## 清明会代表 松本賢一 議員

### 【今回の質問】

1. 市政運営12年間の業績評価
2. スマートICについて
3. 産業団地について
4. 商業施設の誘致

**問1** 持続可能な市政の基礎を築き上げた市長の業績評価は。

**答1** 市長 財政改革では、合併時と比較し経常収支比率を初め各財政指数は改善し、特に将来負担比率において、県内一、全国でもトップクラスとなった。公共事業では、特定財源や合併特例債等を最大限活用し、教育施設の耐震化、道の駅もつけ、新庁舎などの公共インフラ事業

**問2** I C整備の財政措置について。

**答2** 市長 総事業費は約27億9千万円。内訳は、料金所から高速道路路までがネクスコ東日本で約24億8千万円。料金所手前から1・2号

**問4** 商業施設の誘致を望む市民の声に対する市の考えは。

**答4** 市長 大規模小売店の誘致は雇用の創出、税収の増加、地域活性化、交流人口の増加など経済効果は極めて高いと考える。社会情勢や民間事業者の動向を注視しながら検討する。

の着実な推進を図った。大松山運動公園拡張整備事業、三王山ふれあい公園整備事業、新たにスマートIC事業や産業団地整備事業に着手し下野市をジャンプアップさせたい。

売店の誘致は雇用の創出、税収の増加、地域活性化、交流人口の増加など経済効果は極めて高いと考える。社会情勢や民間事業者の動向を注視しながら検討する。



完成した三王山ふれあい公園



## 中村 節子 議員

【今回の質問】

1. 思川開発事業について

壬生町)からなる協議会で金額などが説明できる状況になった場合、検証の上、同時期に市民に説明する機会を設けていきたい。

**答**  
1

市長 2市1町  
(栃木市、下野市、

**問**  
1 県から県南広域的水道整備計画について、負担金や買い取るべき量が示された時、どのように市民に伝え、どのようにに市民の声を聞くのか。

**答**  
1

総合政策部長  
県が施設を整備

がそれを使わない場合と、買う権利を得てその水を実際に使う場合とで、県に支払う負担金は同じか。

**問**  
1

ダムの水を買う権利を確保する

**答**  
1 下野市だけが、この事業から抜けることはできるのか。

**答**  
1

市長 協議会の全てのメンバーが納得できる形に持つていく。

**問**  
1

するのです、どちらも負担する金額は同じである。

**問**  
1

地下水の汚染リスクとして硝酸態窒素、亜硝酸態窒素がある。このような地下水汚染は化学肥料の過剰な施肥や家畜排泄物に主な原因がある。全国では地下水汚染対策推進計画などを策定しているが、

**答**  
1

市長 県、近隣市町と協議し、検討していきたい。



## 伊藤 陽一 議員

【今回の質問】

1. 県内の児童養護施設やグループホームの卒園生の自立について
2. 青少年グループホームの開設

**問**  
1・2

下野市ではイターン、Uターンを推進しており、児童養護施設出身者から移住先を選んでもらえるような施策を求める。

県内の児童養護施設の数は11施設あり約550名の児童・生徒がおり毎年約30〜40名の卒園生がいる。

**答**  
1・2 市長 児童養護施設卒園者及び未就労青少年に対する自立支援を行う青少年グループホームの設立を望む。

**答**  
1・2

また、養護施設卒園者と未就労青少年の自立支援を行う青少年グループホームの設立を望む。

共同生活ができる住居があったなら、興味のある仕事選びができるようになる。例えば、花屋さんや料理屋さん等、やりたい仕事探しができれば、移住・定住につながると思う。

立支援をユースアフターケア、ポラリスとちぎ、とちぎ若者サポートステーション等の支援機関と連携を図りながら自立に向けた支援を行ってみたい。



児童養護施設の様子



## 五戸 豊弘 議員

【今回の質問】

1. 酷暑対策について
2. 県南広域的水道整備計画について

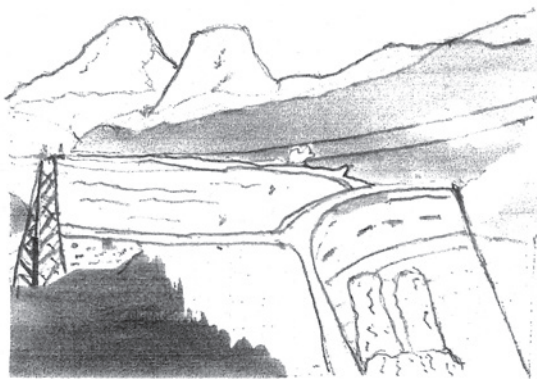
**答1** 市長 生活保護世帯の電気料金補助については、国の定めない夏季加算について、本市独自に助成をおこなうことは考えていない。

**問2** 市長は「市民に安全な水道水を」と述べながら表流水を使う水道整備事業に賛同している。一方水道整備事業に反対する署名の皆さんの思い

とは考えていない。

**問1** 今年の夏は30度以上も続き、テレビや新聞でエアコンの使用を促している。生活保護世帯のエアコン電気料金や低所得世帯のエアコン設置の助成制度を創設すべきではないか。

**答2** 市長 「安全で安定した水道水の供給を将来にわたり持続的に保障する」という水道事業者の責任を果たし、「おいしく、安く、安全な水道水を市民に今後とも持続的に供給していきたい」との私の思いは、市民の願いと違っているとは考えていない。



## 相澤 康男 議員

【今回の質問】

1. 公共交通機関について
2. アグリツーリズム(農泊)について

**答1** 市長 本市デマンドバスは、高齢者など交通弱者の移動手段として、公共交通空白地域を解消するため、市内全域を対象エリアとして運行している。利用

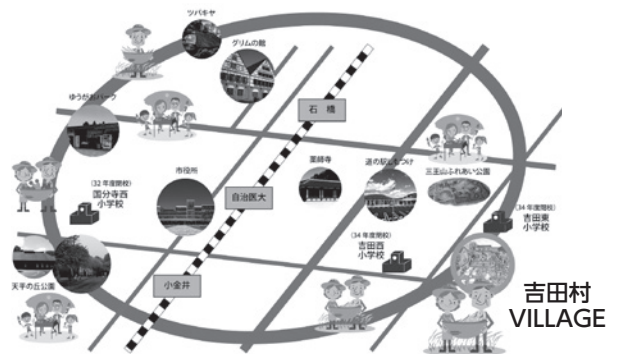
**問2** 農泊推進事業として、吉田村アグリツーリズムが農林水産省より採択された。農

泊事業の成功は市の農業、観光に大きく寄与するが、観光に大きく寄与するが、農泊の知識、ノウハウ習得のため、市のインキュベーター(※)としての取り組みについて伺う。

**問1** 下野市中心部から離れた自治会の高齢化率が顕著になり、外出の機会が減っている。デマンドバスの利用条件と利用状況、一日当たりの乗客数と予約数について伺う。

条件は市内在住、事前登録が必要。利用状況としては、平成30年3月末の登録者数が3954名、平成29年度の利用者は延べ2万2275名、一日当たりの利用者数は76名となっている。予約数については、データを取っていないため把握していない。

**答2** 市長 農泊に関するリーダーの育成は急務である。吉田村アグリツーリズム推進協議会の一員として、国、県、関連団体との連携を密にして、農泊事業をリードする人材育成を支援していく。



※インキュベーター：起業に関する支援を行う者のこと。(保育器のこと)



## 高山 和典 議員

【今回の質問】

1. 都市計画区域区分の見直し
2. 既存集落の規制緩和
3. 空家バンクについて

成30年8月末現在で10の区域が指定され19件が建っているが、その多くが姿川西地区となっている。指定区域のエリア拡大等

### 答2

市長 開発の実績については平

問2 既存集落の一部は都市計画法第34条第11号により住宅建設の規制が緩和されているが、指定後の実績と、今後、エリア拡大も含めた見直し等の考えはあるのか伺う。

問3 空き家バンクの今後のスケジュールや登録物件に対しての助成金について伺う。

### 問3

市長 本市への移住定住を促進し、まちの賑わいを取り戻すことを目的に空家バンクを設置した。9月の広報で運用開始の周知を行い、空家バンクへの登録をお願いしている。リフォーム工事補助金・家財処分に対する補助金を本定例会に補正予算案として計上した(※10ページ「空き家対策事業」参照)。

### 答3

市長 本市への移住定住を促進し、まちの賑わいを取り戻すことを目的に空家バンクを設置した。9月の広報で運用開始の周知を行い、空家バンクへの登録をお願いしている。リフォーム工事補助金・家財処分に対する補助金を本定例会に補正予算案として計上した(※10ページ「空き家対策事業」参照)。



## 石川 信夫 議員

【今回の質問】

1. 予算編成について

### 問1

現在の単年度予算は、入ってきたものをその年度で使い切る予算編成となっている。国の借金が1千兆円を超えさらに今後も増えていく中、今後は地方交付税のカットなども考えられる。入ってきたものを使い切るという考えではなく、内部留保していく予算編成は必要と考える。また、市民の要望に応じていくため、十分な予算を確保し複数年度に

### 答1

市長 予算編成は全ての計画の最上位計画である第二次下野市総合計画の方針や目標に沿って実施され、全職員が真剣な検討を重ね決定されていく。今年度の決算では、12億3331万円が黒字となつて残つた。全てを使い切るわけではない。これから無駄を省き、市民の皆

問1 現在の単年度予算は、入ってきたものをその年度で使い切る予算編成となっている。国の借金が1千兆円を超えさらに今後も増えていく中、今後は地方交付税のカットなども考えられる。入ってきたものを使い切るという考えではなく、内部留保していく予算編成は必要と考える。また、市民の要望に応じていくため、十分な予算を確保し複数年度に

問1 内部留保をすることで重税に苦しむ市民に対し、減税をしていく考えはないか。

### 答1

市長 基金は将来必要とされるためのもので、減税のためではない。減税の場合、行政サービスのどこかを切り、なくすことになる。多くの市民はそれを望んでいないと思う。

### 問1

内部留保をすることで重税に苦しむ市民に対し、減税をしていく考えはないか。

様の期待に応えられる予算編成となるよう努力していく。



条例指定区域位置図の一部



平成30年度予算書





## 貝木 幸男 議員

【今回の質問】

1. 大松山プールのロッカーについて
2. プレミアム商品券の予約販売

### 答 1

市長 大松山運動公園プールは、

**問 1** 幼児・小学生・中学生など多くの子供たちが利用する大松山運動公園プールのロッカーが、有料(100円)になっている。本市のほかの施設はどれも無料なのに、子供たちが使う大松山運動公園プールのロッカーが有料なのは、いかがなものか。来年までに無料にできないか伺う。

大松山運動公園プールは、6割だが、来年度からも

築36年を経過し、老朽化が激しく経営的には毎年赤字となっている。このため施設の今後のあり方の検討を進めているが、利用者の7割が幼児・小学生・中学生であることから来年度から無料にする方向で検討していく。

販売の割合が4割、当日販売を行うことも可能な状況である。

**問 2** 今年度からプレミアム商品券の予約販売が始まったが、目的は何か。また、予約販売の割合が4割、当日販売を行うことも可能な状況である。



大松山運動公園プールのロッカー



## 坂村 哲也 議員

【今回の質問】

1. 立地適正化計画による、未来に向けたまちづくりについて

### 答 1

市長 3つの市街地を連携する

**問 1** 都市計画と公共交通の一体化が必要である本計画を、どのように進めていくのか。市民にとって将来に希望の持てるまちづくりであるのか。

市長 地権者の意思を優先すべ

**問 1** 小金井駅周辺の開発を進め、人口誘致できないか。また、旧石橋庁舎及び旧石橋総合病院跡地をどのように活用するのか。

市長 民間のノウハウや資金を

**問 1** 本計画を実施するには、公共施設の利用した民間機能の誘導が必要であるが、官民連携によるまちづくりを推進していくのか。

ネットワーク型コンパクトシティの形成を目指し、都市機能を維持しながら、安心して暮らせるまちづくりの実現を目指す。平成32年度末までに地域公

共交通網形成計画の策定を進めていく。

橋庁舎は自由度の高い多目的広場へ整備する方針。



みんなで進めるまちづくり



## 磯 辺 香 代 議員

【今回の質問】

1. 「主要農作物種子法」廃止後の状況と今後の方針について
2. 「広報しもつけ」アンケート結果について

**問** 米や麦、大豆の種子の安定的な生産供給を都道府県に義務付けてきた「種子法」が廃止された。県は種子事業の予算根拠を失い、徐々に事業から撤退するのではないかと懸念している。

**答** 1

市長 県は「主要農作物種子供給のあり方検討会」を設置し、原種生産業務を継続することを基本に検討を続ける。本市としては、

国・県、関係機関の動向を注視しつつ、本市の農業や市民への影響に留意してまいりたい。

**問** 1

市長 ①下野市の清掃・点検等を実施し、適切な管理をする。

「農林水産事務次官通知」では「都道府県が有する種苗の生産に関する知見の民間事業者への提供促進」が記されている。種子の知見の民間流出、遺伝子レベルでの特許によるロイヤルティ加算や、遺伝子組み換えによる殺

**答** 1

産業振興部長 この問題については、県に対して機会をとらえて発言させていただけではないか。



収穫した米



## 大 島 昌 弘 議員

【今回の質問】

1. 防災力向上について
2. 住みよさランキングについて
3. D C (デスティネーションキャンペーン)について

**問** 1 西日本大災害を受けて、本市の防災力向上について伺う。

**答** 1

市長 ①下野市ハザードマップによれば、鬼怒川・田川流域沿いで約3500人、

②一人暮らしや高齢者世帯への対策について。

**問** 1

市長 ①下野市の清掃・点検等を実施し、適切な管理をする。

⑤安全確認に消防団の無線等を使用する。

③避難所運営の状況に災害協定の締結に向けて検討する。停電時の対応として電気自動車からの電



東調整池(上)



(左)ライスセンター

## 募金活動を行いました



大阪府北部地震、西日本豪雨災害により、多数の死者、家屋の倒壊にあわれた皆様に心からお見舞い申し上げます。下野市議会議員及び市職員部課長会により、7月21日(土)に道の駅しもつけにおいて、午前9時から12時まで災害被害者への義援金募金活動を行いました。来場された皆様からの温かいご支援とご協力により義援金をいただきましたので、栃木県共同募金会を通し、被害者の方に届けました。

募金総額 10万6543円

## 議会の動き

### 8月

- 18日 市議会主催講演会  
～ピンチはチャンス！困難を乗り越えるヒント～
- 20日 中学生議会  
経済建設常任委員会
- 22日 教育福祉常任委員会
- 23日 議会運営委員会・議員全員協議会
- 24日 議会だより編集委員会
- 30日～9月21日 第3回定例会

### 9月

- 19日 議会運営委員会・議員全員協議会・議会活性化特別委員会・正副委員長会議
- 21日 議員全員協議会・議会だより編集委員会

### 10月

- 2日 岐阜県羽島市議会視察来庁  
～中小企業支援の取り組みについて～
- 4日～5日 議会運営委員会行政視察  
(三重県伊賀市・四日市市)
- 9日 議会だより編集委員会  
議会だより編集委員会主催による講習会  
～魅力的な広報紙を作成するヒント～
- 11日～12日 市町村アカデミー  
「市町村議会議員特別セミナー」
- 16日 栃木県市議会議長会議・議員研修会
- 17日 各常任委員会  
議員研修会「認知症サポーター養成講座」  
議会運営委員会
- 22日～23日 総務常任委員会行政視察  
(新潟県三条市・燕市)
- 23日～24日 経済建設常任委員会行政視察  
(長野県小布施町・長野市)
- 25日 議会だより編集委員会
- 27日 市民と議員の意見交換会(議会報告会)
- 29日～30日 議会だより編集委員会行政視察  
(石川県加賀市・白山市)



## 石田 陽一 議員

【今回の質問】

1. 4期目からの広瀬市政の思いは

### 問1

広域連携している下野市・上三

川町・壬生町のうち、下野市と上三川町には文化

会館がない。共同で建てられるところがあれば検討しても良いかと思うが。

### 答1

市長 上三川町でも、中規模でいいので施設がほしいとの話が出たことがある。今後研究しながら考えていく。

### 問1

獨協医大と、自治医大があること

の辺りに医療特区をつくり、自治医大駅周辺にビジネスホテル誘致を考えるとみてはどうか。

### 答1

副市長 まちづくりとして大きな課題は、何といたっても市街化区域の区域区分見直しである。内閣府の提案募集制度を使いながら、国・県に本市の実情、東京圏からの人の流れをつくり、その受け皿になるんだという強い思いをぶつけていきたい。

### 問1

壬生町新庁舎の建設計画に向け、上台地区以西の道路計画を検討してはどうか。

### 答1

市長 壬生町での都市計画道路の整備計画状況を見ながら検討する。

### 問1

石橋地区の旧市街地で、雨の日の水たまりに困っている通学路があるが雨水排水処理計画をどう考えるか。

### 答1

市長 早急な整備を検討する。



雨水対策のされていない通学路



# 市議会主催の講演会を開催しました

## ～ピンチはチャンス！困難を乗り越えるヒント～ タレント 林家まる子氏



8月18日(土)下野市庁舎でタレントの林家まる子氏の講演会が開催されました。

まる子さんは45歳(20代のような若さです)。ご両親は、漫才師の林家ライス・カレー子、弟は大神楽の翁家勝丸という芸能一家です。

幼少期は喘息に苦しみますが、テレビで見た松田聖子さんにあこがれ、芸能人を目指したまる子さん。聖子さんと同じプロダクションに入ります。その後、林家一門に弟子入りするも、テレビ出演の際に壮絶ないじめにあい、体調を崩し、林家一門を去るピンチがやってきます。

けれども、まる子さんは「いじめられたことを恨むのも感謝するのも自分次第」と考え、仕事をがんばる力がわいてきたと言います。そして、「自分が変わらなくてはいけない。今がバージョンアップの時なんだ」「ピンチがないとチャンスも来ない」と前向きに人生を切り開いてきました。

現在は、お母様とお二人で新しい漫才コンビ結成のための準備中です。長く担当したテレビ番組の縁で、11年前から「いばらき観光大使」も務め、大変お忙しい毎日を過ごされています。

何事も考え方次第、「ピンチはチャンス！」の言葉に大いに励まされた一日でした。(中村節子)

## 第4回定例会(12月議会)の予定

日	月	火	水	木	金	土
18	19	20	21	22	23	24
11月				議会運営委員会	勤労感謝の日	
25	26	27	28	29	30	1
	議会だより編集委員会			本会議(開会) 議場コンサート	本会議	12月
2	3	4	5	6	7	8
	本会議	本会議	常任委員会	常任委員会	常任委員会	
9	10	11	12	13	14	15
				本会議(閉会) 議会だより編集委員会		

♪議場コンサート♪  
11月29日(木)  
午前9時～9時30分(開会前)  
議場にて白鳳琴の会(下野市文化協会)による議場コンサートを行います。  
傍聴席からご覧いただけます。  
(無料・先着順)

※会議の予定は変更になることがあります。  
※日程が決定次第、市ホームページでお知らせいたします。

## 編集後記

今回の9月定例議会は、新しい8名の新人議員を迎えた決算議会であり、新人らしい新しい視点の意見が多く出され、また初めて会派制導入により、会派代表質問が行われました。会派代表質問3名、一般質問11名と下野市議会始まって以来の活性化された内容の議会になりました。

また、今回2回目となる中学生議会が開催され、市執行部に質問し、政策提言が行われ、選挙権が18歳から政治参加できる中で、政治に興味を持ってもらえるとうれしく思いました。

議会が市民の皆様身近に感じられるように議会だより作りに努力していきます。  
(大島昌弘)

### 議会だより編集委員会

- 委員長 中村節子
- 副委員長 大島昌弘
- 委員 坂村哲也
- 委員 高山和典
- 委員 五戸豊弘
- 委員 相澤康男

下野市議会だより1部あたりの印刷製本費は約15.4円です。

次号(No.51)は2月15日に発行します

下野市社会福祉協議会ボランティアセンターにおいて下野市議会だよりの音訳CDを貸し出しています。  
連絡先: (43) 1236

下野市議会だより

No. 50

平成30年11月15日発行

年4回発行

〒329-0492 栃木県下野市笹原26番地  
電話0285(32)8914/FAX0285(32)8614